

じてんしゃスクール



尾張旭市立
in 三郷小学校



2018年11月13日(火)

公立小学校における3段階の出前授業 ＜3段階目 操作技術練習＞

6年生78人 2クラス クラス別実施
45分間×2回 運動場

4年生の時には＜1段階目 公共マナー＞。5年生の時には＜2段階目 交通マナー・ルール＞。そして6年生になった今回は、全員が自転車に乗って学ぶ＜3段階目 操作技術練習＞です。おまわりさんからは、「止まれ」の標識の意味と安全確認の大切さのお話がありました。その後は正しいヘルメットのかぶり方の実演。そして、安全確認動作の練習「右・左・右・うしろ」。いよいよ、自転車にのります。左側からのるなど基本の動作をしたら安全確認をして進みます。一本橋（ゴムシート）にスラローム。「止まれ」の標識もあります。自転車は車のなかま。交通ルールを守ってはしります。自転車は、スピードを出すよりも、ゆっくりと運転する方が難しい乗り物です。また、周囲の状況を判断することも大切です。これからも、安全第一に、自分の命、そして、ほかの人の命を守りましょう。



場所：尾張旭市立三郷小学校 運動場
協力：三郷小学校・愛知県守山警察署交通課
守山尾張旭交通安全協会・尾張旭市民活動課交通防犯係
プログラム・指導・機材：交通教育NPO OSCNじてんしゃスクール



命を守るヘルメット
正しくかぶり、大切に扱うことで、いざという時に、命を守ることができます。
自分の頭に合うサイズを選び、フィットするようにベルトの長さを調節しましょう。



自転車は車のなかま
「止まれ」の標識では自転車も止まります。
飛び出し事故が多いです。安全確認をして進むことがとても大切です。

みんな
自転車にのって体験！



ヘルメットの正しいかぶり方
①まゆげの上のあたりまで深くかぶる
②ベルトは耳をはさんで三角の形
③ベルトの長さは、指が縦に2本入るくらい



基本の動作
①自転車の左側に立つ。
②左側から自転車にまたがり、左足を地面につける。
③安全確認をする。「右・左・右・うしろ」
④ペダルを右足でこぎだす。

まっすぐ進んで、ゆっくりとスラロームをする。
「止まれ」の標識では、ブレーキで止まる。
うっかり標識を見落としたり、スピードが速すぎてスラロームを曲がれない時もあります。
自転車の運転も練習が必要ですね。

児童の感想（ふりかえりシートより抜粋）

「自転車は早いスピードでしかのったことがなかったの、ゆっくりと運転するのが難しかった。」

「これまでは、右と左しか確認していなかった。
うしろも確認することを学んだ」

「これからは、ヘルメットを大事にあつきたいと思った。」

「今日学んだことを家族にも教えてあげたい。」



OScN じてんしゃスクール

TEL 0561-52-3134 (片山)
www.oscn-school.org